

令和6年度高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施のための中国5県担当者意見交換会(令和7年2月26日実施)
高梁市作成資料一部改変

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係る取組

岡山県高梁市の事例 （令和6年11月21日中国四国厚生局地域包括ケア推進課聞き取り）

厚生労働省 中国四国厚生局
健康福祉部 地域包括ケア推進課

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

高梁市の概要①

◆高梁市の歴史・位置・自然

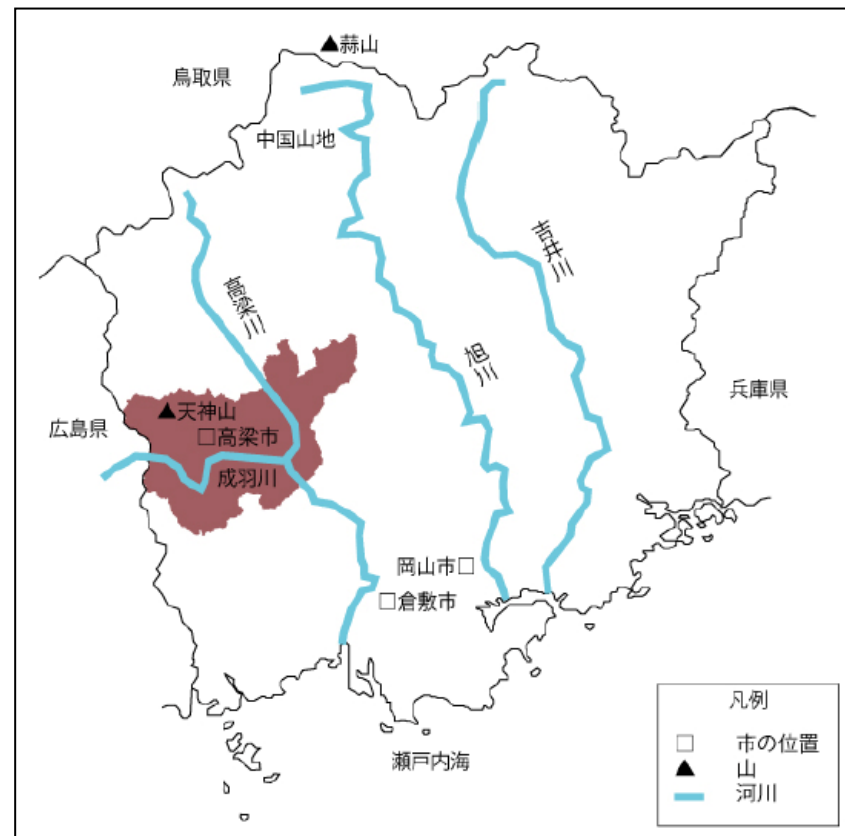
高梁市は、古来「備中の国」の中核として繁栄し、近世では幕藩体制のもとに備中松山藩を中心として、また近代以降においても政治、経済、教育の中心地として栄えてきました。

そして、平成16年10月1日に、旧高梁市、旧有漢町、旧成羽町、旧川上町及び旧備中町の1市4町が新設合併して、現在の高梁市が誕生しました。

本市は、岡山県中西部に広がる吉備高原に位置しており、西は広島県神石高原町に隣接しています。

市域は東西35km、南北30kmとやや東西方向に長く、面積は546.99km²で、県土の7.7%を占め、岡山県内の市町村では4番目に広い面積を有しています。

市の東部を県下三大河川の1つである高梁川が貫流し、高梁川、成羽川及び有漢川の流域の平地に市街地が広がり、その他は、急峻な傾斜部及び起伏が激しい高原部に集落が点在しています。

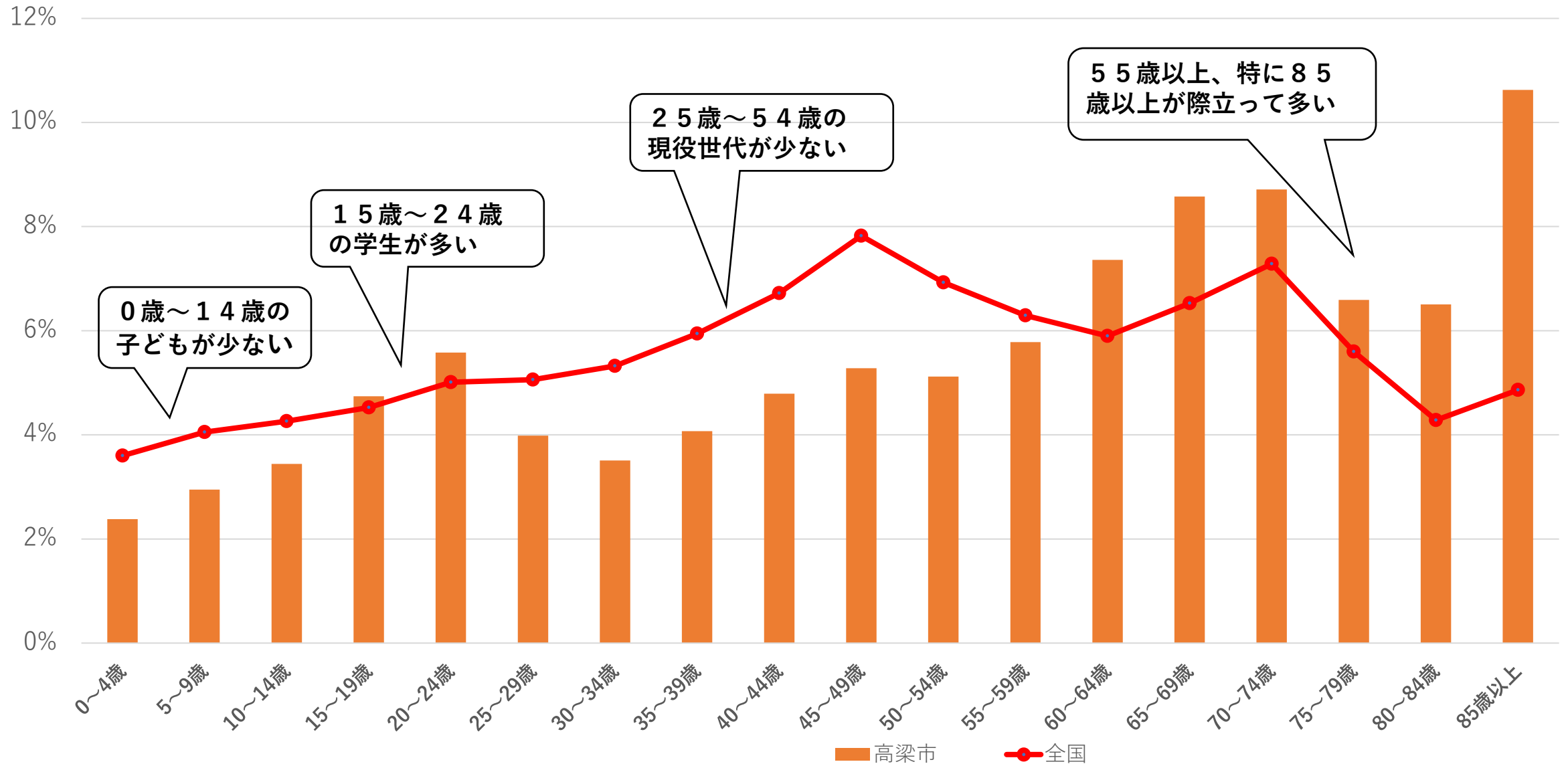


高梁市の概要①

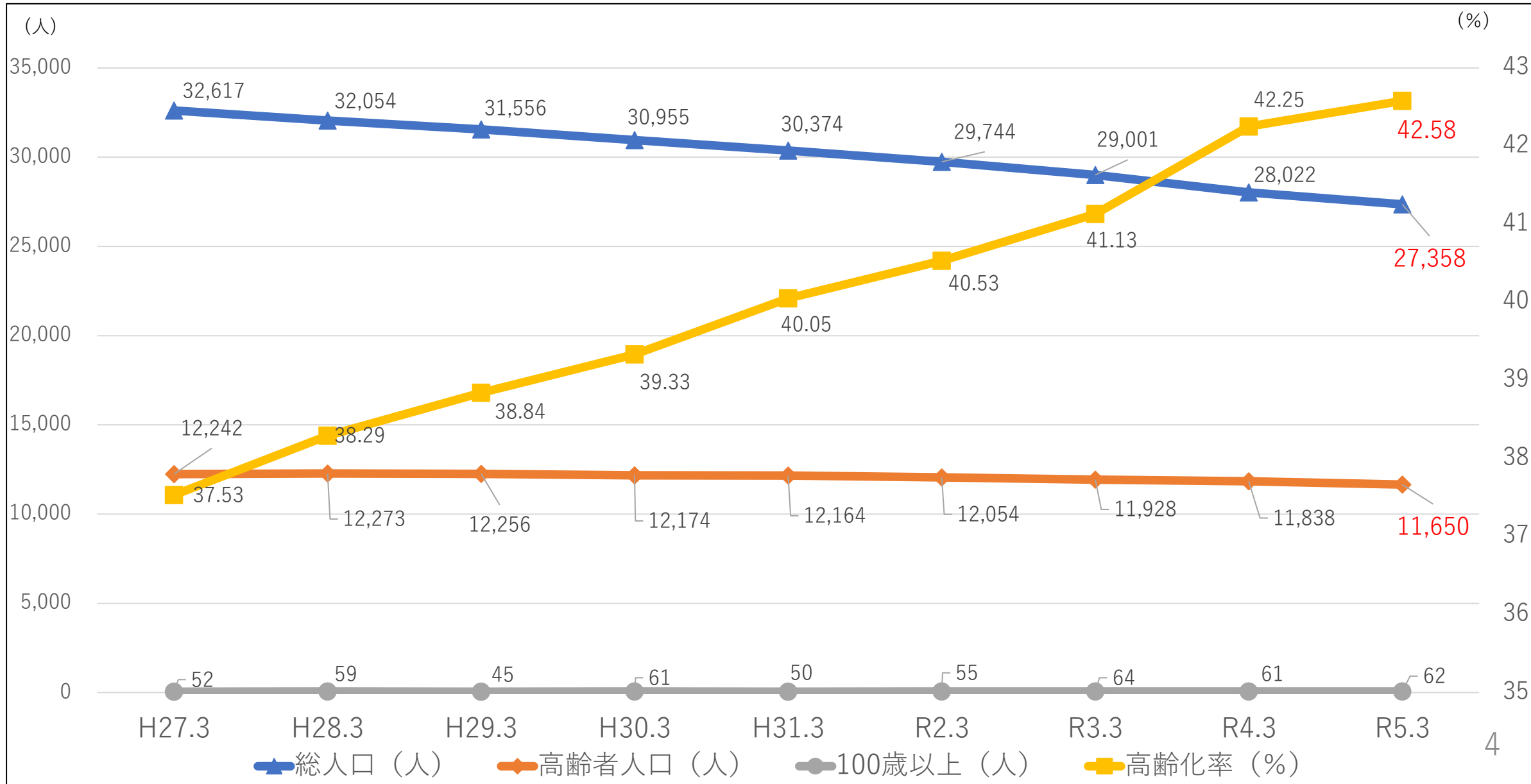
総人口	26, 861人(R6年1月1日現在) (内訳:男性13,067人 女性13,794人)
高齢者人口	11,476人 (R5年10月1日現在)
高齢化率	43. 7%(R5年10月1日現在)
平均寿命	男性 81. 2歳 女性 87. 8歳 (R4年度累計)
日常生活圏域	7圏域



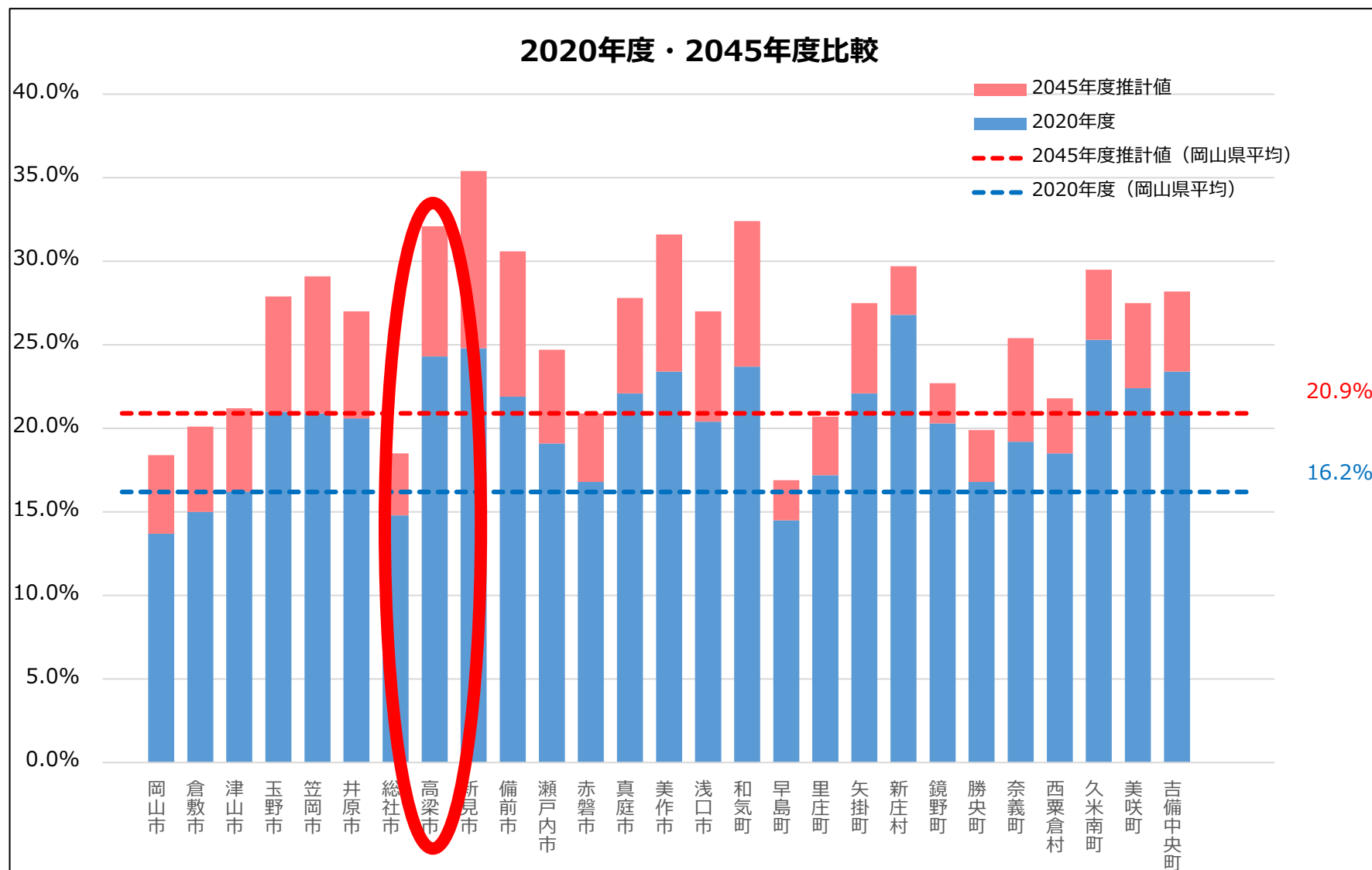
高梁市の人口動態



人口・高齢化率の推移

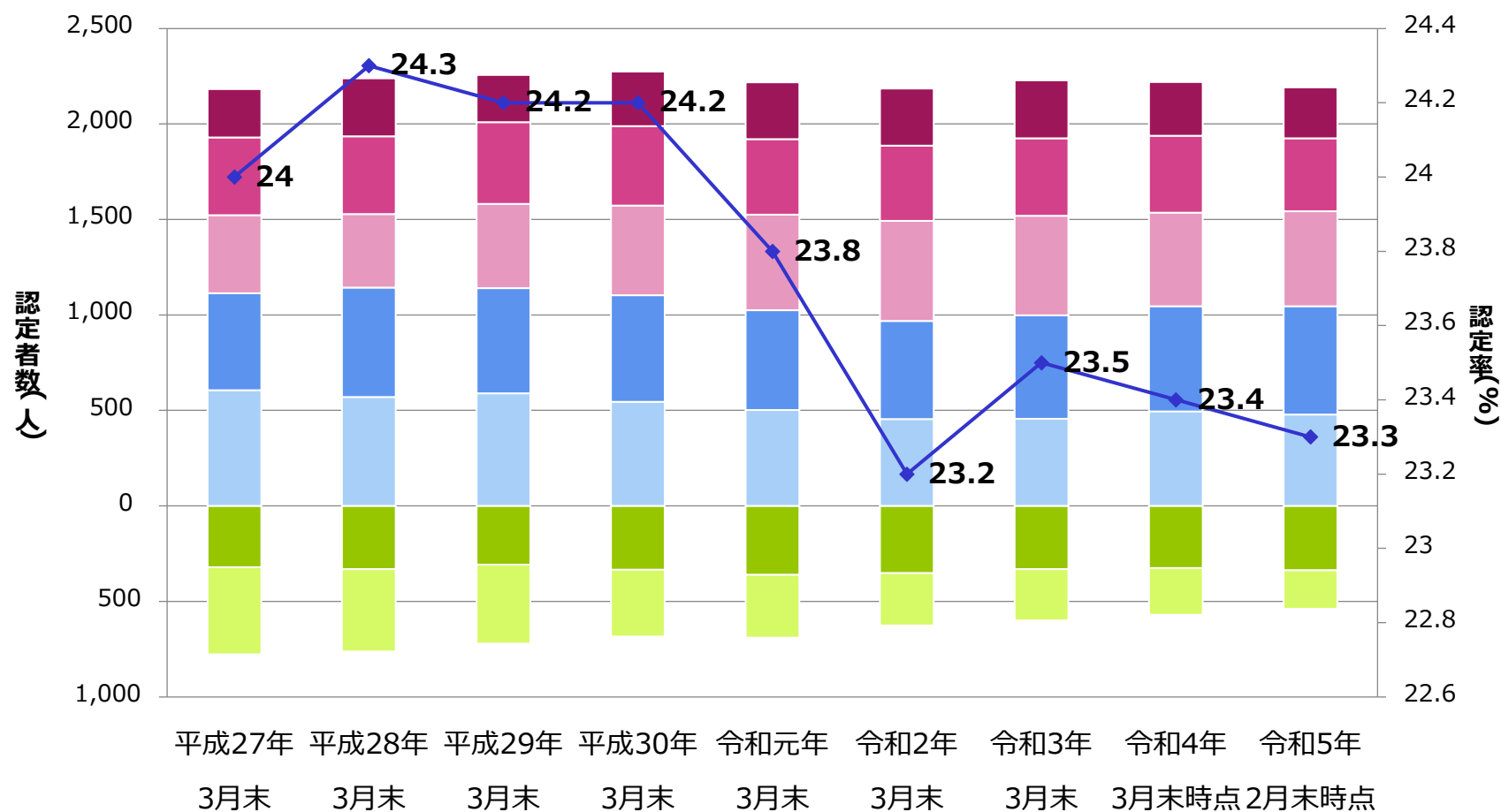


75歳以上割合



※国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成3年推計）」

高梁市の要介護(要支援)認定者数の推移



高梁市の認定率の降順		
(平成5年2月末時点)		
岡山県内	2番目	27保険者
全国	58番目	1,571保険者

- 認定者数 (要介護 5)
- 認定者数 (要介護 4)
- 認定者数 (要介護 3)
- 認定者数 (要介護 2)
- 認定者数 (要介護 1)
- 認定者数 (要支援 1)
- 認定者数 (要支援 2)

(出典) 平成26年度から令和2年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告(年報)」、令和3年度：「介護保険事業状況報告(3月月報)」、令和4年度：直近の「介護保険事業状況報告(月報)」

高梁市役所の組織

市長部局

総務部
産業経済部
土木部
市民生活部

健康福祉部

消防本部
成羽病院

庁舎内協議

健康づくり課

地域医療連携課

医療機関との連携、国民健康保険

健幸長寿課

介護認定、介護施設

地域包括支援センター

介護予防・地域包括ケア

福祉課

障害児・者、生活困窮世帯

こども未来課

母子家庭支援、児童虐待

すこやか推進係

- ・各種計画
- ・各種補助・助成金
- ・栄養指導
- ・高梁市独自事業 など

まちの保健係

- ・各種健診・検診
- ・個別訪問
- ・地区担当 など

教育委員会

教育委員会事務局

保育園・認定こども園・幼稚園・小学校・中学校・高校
社会教育・文化財・スポーツ振興

議会、その他各種委員会



庁舎内協議

R 3 年度

- ・ 市内保健師会にて検討・協議 （部内各課所属）
課題の抽出・取組概要・事業企画案を作成
- ・ 各課関係職員と協議
K D B システムを活用し地域の健康課題の分析・対象者の把握
事業の企画調整、関係団体との調整
R 4 年度開始を決定

R 4 年度 事業開始

高梁市一体的実施事業

事業目的：健康寿命の延伸
後期高齢者医療を持続可能な仕組みとするための医療費適正化



市民：国保・後期・介護の保健事業の一体的な実施の活用による生涯を通じた重症化予防

事業効果

- 健診データ、K D B システムを活用した分析により市の健康課題や優先すべき対象者が明確となる
- 重症化予防の継続的な取組により住み慣れた地域で自立した生活ができる期間が延伸する
- 医療制度をはじめとする社会保障制度の安定的な運営に結び付けられることにより高齢者が安心して暮らせる地域社会の醸成を図る事ができる

保健事業に関する各種計画

高梁市総合計画

- ・高梁市の最上位計画
- ・計画期間10年 2021～2030

基本方針1 地域産業・地域資源を活かした活力あるまち
基本方針2 美しい自然環境と快適な生活基盤が調和した
安心・安全のまち

**基本方針3 心のつながりを大切に支え合い
助け合う健康のまち**

政策1 健康で心豊かに暮らせる環境を整えます

施策① 健康づくりの推進

施策② 地域包括ケアシステムの推進

施策③ 地域医療体制の充実

施策④ 感染症対策の推進

高梁市高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画

- ・老人福祉法・介護保険法に基づく計画
- ・第9期 計画期間 R6～R8
- ・介護予防・地域包括ケアシステムの推進
介護現場の革新

すこやかプラン21

- ・健康増進法に基づく計画
- ・総合的な健康づくりの指針として、市民の健康づくりの
目指す方向性とこれを達成するための基本的施策を定める。
- ・第2次計画 計画期間10年 H26～R6
※コロナにより計画期間を1年間延長
※第3次計画作成中（R7～16）

食育推進計画

- ・食育基本法に基づく計画

自殺対策計画

- ・自殺対策基本法に基づく計画

データヘルス計画

- ・国民健康保険法に基づく計画
- ・国保の健診・レセプト・介護等のデータを分析して、
健康課題を抽出し、対策を実施。
- ・計画期間 R6～R11

地域の健康課題の整理・分析結果

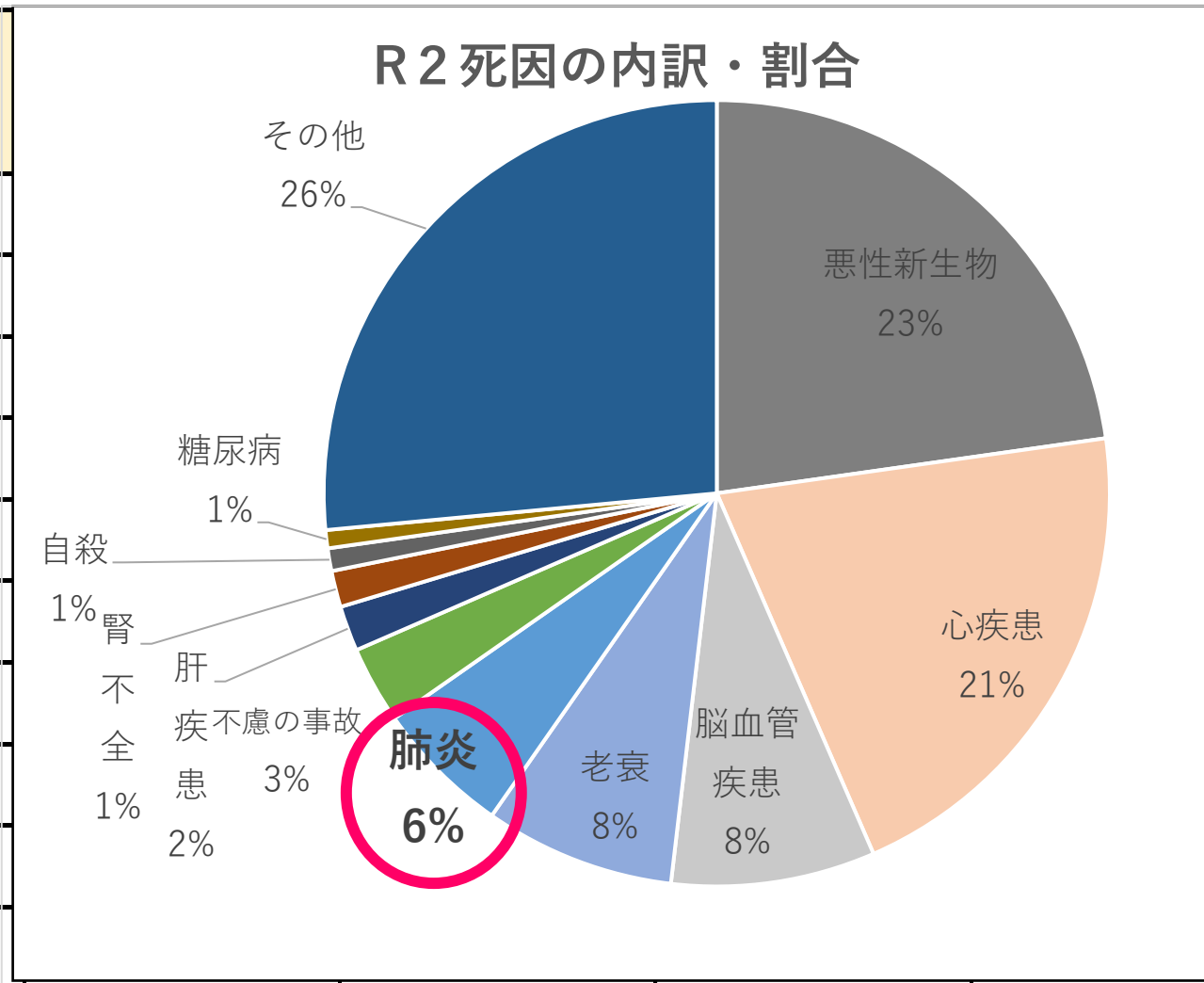
- ①年間150人から180人の健康状態不明な高齢者がいる
R2年度実施健康状態不明な高齢者の訪問結果より
 - ・固い物が食べにくい33%、お茶や汁物でむせる22%口腔機能の課題あり
 - ⇒ 健康状態の把握
 - ⇒ 自立した生活の継続または適切なサービスへつなぐ
 - ⇒ 口腔機能を中心としたフレイル予防が必要
- ②医療費分析（KDBシステムより）高額レセプト発生疾患
患者において誤嚥性肺炎が上位を占めており、死亡原因では
悪性新生物・心疾患・脳血管疾患に次いで（老衰を除き）4位と
なっている。
糖尿病の医療費が高い。歯科医療費、受診率ともに同県同規模市町より低い。
 - ⇒ 口腔ケア、嚥下機能の低下防止、歯周病予防

【全体】

表)傷病の状況(上位10傷病)(2020年度)

順位	中分類コード	傷病名
1	N18	末期腎不全
2	M81	骨粗鬆症
3	F20	統合失調症
4	M17	変形性膝関節症
5	G47	不眠症
6	I10	高血圧症
7	F03	認知症
8	S72	大腿骨転子部骨折
9	N18	慢性腎不全
10	J69	誤嚥性肺炎

死因の内訳・割合（2020年度）



取組の方向性



- 口腔機能を中心としたフレイル予防対策を行う
- 在宅高齢者の実態把握と医療・健診・介護・通いの場等適切なサービスへつなぐ
- 通いの場での健康教育を実施し、口腔機能の向上に取り組む

事業全体の目標

- 短期目標 : 高齢者の情報把握を行い、必要な支援と適切なサービスへつなぐ
- 中長期目標 : 地域の関係機関・団体と円滑な情報共有と連携することで高齢者に対する地域全体の健康づくり体制を構築する
⇒フレイル状態に該当する高齢者が減少する



ハイリスクアプローチ①



対象者：

- ①75歳以上で1年以上医療・介護・福祉の利用がない人
（岡山県後期高齢者医療広域連合からの対象データ）
のうち、90歳までの高齢者
地域包括支援センター訪問活動において直近
6か月以内に健康状態を確認している人は除く
※90歳以上の高齢者は地域包括支援センターが実態把握

ハイリスクアプローチ②



事業内容：

- 健康状態不明者に対し 6 か月間に 2 回訪問
 - 後期高齢者質問票・口腔機能チェックシート・咀嚼力判定を実施
 - ⇒健康状態、受診状況、サービス利用状況把握
 - ⇒必要に応じて健診・医療機関の受診勧奨
 - ⇒オーラルフレイル傾向には医療機関宛ての情報提供書類を
本人へ渡し歯科受診を促す
 - ⇒口腔機能体操を紹介
 - ⇒状況により通いの場や包括支援センターへつなぐ

令和5年度口腔機能チェックシート

対象者台帳NO. ()

(健不)

氏名 ()	生年月日：昭和 年 月 日	
下記の質問の当てはまる番号に○をつけてください。	1回目 令和 年 月 日	6か月後 令和 年 月 日
* ①固いものが食べにくいですか	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
* ②お茶や汁物等でむせることがありますか	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
* ③口がかわきやすいですか	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
* ④薬(食物)が飲みこみにくなりましたか	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
⑤話すときに舌がひっかかりますか	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
⑥口臭が気になりますか	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
⑦食事にかかる時間は長くなりましたか	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
⑧薄味が分かりにくくなりましたか	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
⑨食べこぼしがありますか	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
⑩食後に口の中に食べ物が残りやすいですか	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
⑪自分の歯または入れ歯で左右の奥歯を * しっかりと噛みしめられますか	1 両方できる 2 片方だけできる 3 どちらもできない	1 両方できる 2 片方だけできる 3 どちらもできない
* ⑫咀嚼力判定ガムの結果	1 良好 (赤色) 2 不十分 (オレンジ色～黄色) 3 不良 (緑色)	1 良好 (赤色) 2 不十分 (オレンジ色～黄色) 3 不良 (緑色)
⑬定期的に歯科受診をしていますか	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
⑭かかりつけの歯科医院がありますか	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
⑮毎日歯ブラシをしていますか	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
⑯パタカラ体操に取り組んでいますか	1 はい 2 いいえ 頻度 ↓ ①毎日 ②週4～5回 ③週1～2回 ④月1～2回	1 はい 2 いいえ 頻度 ↓ ①毎日 ②週4～5回 ③週1～2回 ④月1～2回
⑰唾液腺マッサージに取り組んでいますか	1 はい 2 いいえ 頻度 ↓ ①毎日 ②週4～5回 ③週1～2回 ④月1～2回	1 はい 2 いいえ 頻度 ↓ ①毎日 ②週4～5回 ③週1～2回 ④月1～2回

(ミニデイ・元気なからだつくり隊・介護予防)

H I 台帳NO. ()

後期高齢者の質問票 (1回目・6か月後)

実施日 令和 年 月 日

氏 名		生年月日	昭和 年 月 日
住 所	高梁市	電話番号	
世帯構成	一緒に暮らしている人は、 人 独り、夫、妻、兄弟、子供、孫、ひ孫 父、母	病 歴	既往歴・現病歴等
	質問文	回答	備考
1	あなたの現在の健康状態はいかがですか	①よい ②まあよい ③ふつう ④あまりよくない ⑤よくない	・病院受診 有 無 ・健診受診 有 無 ・かかりつけ医 有 無
2	毎日の生活に満足していますか	①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満	
3	1日3食きちんと食べていますか	①はい ②いいえ	
4	6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少があり ★ ましたか	①はい ②いいえ	
5	以前に比べて歩く速度が遅くなってきた と思いますか	①はい ②いいえ	
6	★ この1年間に転んだことがありますか	①はい ②いいえ	
7	ウォーキング等の運動を週に1回以上して いますか	①はい ②いいえ	運動種類：
8	周りの人から「いつも同じことを聞く」 などの物忘れがあるとされていますか	①はい ②いいえ	
9	今日が何月何日か分からない時がありま すか	①はい ②いいえ	
10	あなたは煙草を吸いますか	①吸っている ②吸っていない ③やめた	
11	★ 週に1回以上は外出していますか	①はい ②いいえ	介護保険サービス・通いの場の利用の有無 外出場所：
12	★ 普段から家族や友人と付き合いがありま すか	①はい ②いいえ	
13	★ 体調が悪いときに、身近に相談できる人 がいますか	①はい ②いいえ	誰：
14	その他 (特記事項)		

キシリトール咀嚼チェックガム 説明・記入方法

1. 製品の特長

- 咀嚼前には緑色のガムが、よく噛むことで徐々に赤色に変色していきます。
咀嚼能力を確認する目安として、小児から高齢者まで簡単に使用することができます。
※高齢者、幼稚園児などガム咀嚼に慣れない方にご使用頂く時は、誤嚥・誤飲にご注意ください。
- 甘味料としてキシリトールを50%以上配合したシュガーレスガムで、味はミックスフルーツ味です（フルーツ香料使用）。
- 歯に付着しにくいガムベースを使用しているため、義歯を使用されている方にも安心してご使用できます。（ただし、全ての方の義歯に付着しないわけではありません）
- アレルギーマテリアル27品目は使用していません。

2. 使用方法

【咀嚼前の準備】

○食後及びブラッシング後30分間は使用を避け、咀嚼直前に水で5秒以上ぶくぶくうがいをしてください。

【咀嚼方法】

○ガムを60回咀嚼してください。（ただし、総入れ歯など著しく咀嚼能力が低下している方は100回咀嚼してください。）

○咀嚼は上下の歯が毎回しっかり噛み合うように1秒に1回のペースでよく噛んでください。

○幼稚園児のように1袋量だと大き過ぎる場合は、1袋の1/3量を60回咀嚼してください。

【咀嚼後の色判定】

○製品パッケージで咀嚼後のガム色を判定し、訪問記録は数字で記録してください。

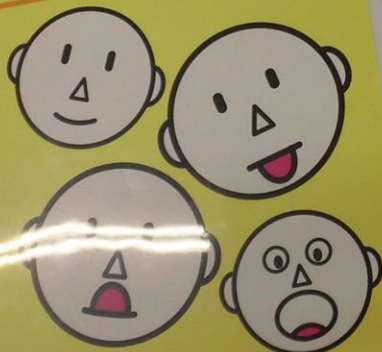


1	2	3	4	5
不良		不十分		良好

※カラーチャートの下
の数字を記録用紙に記入



はじめよう！ ベロは宝物体操！



製作：備北保健所高梁愛育委員会、備北保健所、高梁市
DVD (動画再生用)
DVD VIDEO

はじめよう！ ベロは宝物体操！

3つの体操と1つのマッサージ

<ごっくん体操> 嚥下とは、飲み込むことです。
(嚥下体操)
口や喉の緊張がほぐれて飲み込みがスムーズになります。



- ①鼻から息を吸い込み、口をすぼめてゆっくり吐く。(深呼吸)
- ②首の運動 (首を左右に倒す→まわす)
- ③肩の運動 (肩をすぼめるように挙げ、すっと落とす)
- ④上半身の運動
- ⑤バタカウ体操 (はっきり言う)
- ⑥最後に深呼吸

<ペー体操> 舌を動かして筋力をアップします。
(舌体操)



- ①出したり入れたりする。
- ②左右に動かす。
- ③くると回す。
- ④上下に動かす。

<クシュッ体操> 顔全体の筋肉を動かすことで、食事に必要な機能を維持します。
(顔面体操)



- ①息をすって、「くしゅっ」とした顔をする。
- ②目と鼻と口を思い切り開けて、「わっ！」と声を出す。
- ③口を閉じて頬をふくらませ、ふくらみを左右に動かす。

<うるおいマッサージ> 唾液は口の中の細菌を洗い流すとともに、食べ物を飲み込みやすくします。
(唾液腺マッサージ)



①耳下腺



②顎下腺



③舌下腺

注) ①口がかわいている人は、口を湿らせてからしましょう。
②疲れて食べられなくなったりしないよう無理せずやりましょう。

いつまでもおいしく楽しく食べるために ～お口の健康づくり～

<死因別死亡割合(高梁市)>



肺炎は高梁市の死亡原因の第3位です。
その大半は「誤嚥性肺炎」です。



「誤嚥性肺炎」を知っていますか？

…口の中の細菌を含んだ食べ物や唾液などが、気管から肺に入り込むことによって起こる肺炎です。

誤嚥性肺炎を起こさないよう、次のことに気をつけましょう！



●栄養のバランスを考えてしっかり食べ、抵抗力をつけましょう。

●歯・口をそうじして細菌を減らしましょう。
ていねいな歯みがきとデンタルフロスや歯間ブラシを併用して、歯垢の除去率アップ！

健口体操(ベロは宝物体操)で飲み込む力をつけましょう！
～食事の前に行うと効果的！お口がイキイキと動き出しますよ～

備北保健所高梁愛育委員会・備北保健所・高梁市

令和5年度

けんこうガイドブック

ワンコインで見つかる「がん」があります！



じつは…

高梁市の大腸がん検診受診者はコロナ前に比べて
約800人減とるんじゃ
逆に、**進行した大腸がん**は増えとるんじゃ
どうしたもんかの…

国保医療費もがんの中では大腸が
一番高くなっちゃったの

今年は**大腸がん検診キャンペーン**をするから
みんな「**絶対**」受けてね！！

詳しくは9ページへ⇒



がん検診を受けられるのは症状がない方です

初期のがんは、ほとんど**自覚症状がありません**

症状のある人は**早めに**「病院」へ行きましょう
大腸がんの症状

①血便 ②下痢や便秘を繰り返す ③便が細い など



分からないことは
健康づくり課・お近くの愛育委員さんにご相談ください

高梁市健康福祉部 健康づくり課
電話 (0866) 21-0228、21-0267

2023
Special Edition
特別号

こくほ岡山
2023年3月発行

発行元／岡山県国民健康保険連合会 岡山市北区桑田町17番5号 TEL086-223-9101(代表)



元気な歯をキープして 延ばそう健康寿命！

80歳で20本の歯を残す「8020運動」が浸透したため、高齢者の残存歯数が増加しています。
しかし、残った歯に適切なメンテナンスや必要なケアを行っていない場合、オーラルフレイルに繋がる
確率が高まります。自分の歯を守るため、効果的なケアに取り組みましょう！

●オーラルフレイルとは？ 口腔内の虚弱（口の機能低下）という意味です。

こんなお口の症状があれば要注意！！

■むせる・食べこぼす



■食欲がない
少ししか食べられない



■柔らかいものばかり
食べる



■滑舌が悪い
舌が回らない



■お口が乾く
ニオイが気になる



■自分の歯が少ない
あごの力が弱い



オーラルフレイルを放置していると、やがて食欲低下、認知症、誤嚥性肺炎や低栄養につながります。

ハイリスクアプローチ③



実施結果：

①健康状態不明な高齢者に対して保健師が訪問

1回目 93人実施（102人中） ※市外居住、受診済み、拒否9人

2回目 76人実施

②健診受診につながった 15人 16.3%

③包括へつながった 9人 9.7%

④医療機関受診につながった 歯科20人、内科他15人

⑤通いの場につながった 5人

⑥咀嚼力判定の改善 11人

ハイリスクアプローチ④



評価：

①健康状態不明な高齢者の状況、実態について全数把握

⇒閉じこもり状態、家族に何らかの問題を抱えている

医療、介護が必要な状況、介護、福祉サービスを知らない人
人との交流が苦手等

地域で生活する高齢者の実状がみえてきた・・・

⇒地域包括支援センター等関係機関と情報共有、継続支援につ
なげていく必要がある

②2回訪問できた人の内56%が医療や健診に繋がった

③咀嚼力の低下がみられた人の内2割が6か月後改善

④後期高齢者の質問票項目について6か月後5割が改善

ポピュレーションアプローチ①



対象：

○ロコモ予防体操を実施している 7 圏域の自主グループ
21か所

○65歳以上の虚弱な高齢者を対象としたミニデイサービス
9 か所

合計 3 3 0 人

元気なからだづくり隊

目的

□□モ予防体操を学び、
身近な場所で、
身近な仲間を誘って、
元気で楽しく、
継続的に□□モ予防体操を実践して広める人



元気なからだづくり隊活動マップ



ポピュレーションアプローチ②



事業内容：

- 歯科衛生士と保健師による口腔機能向上に関する健康教育
健康相談を実施
- 後期高齢者の質問票・口腔機能チェックシート・咀嚼力
判定ガムを実施。（6か月後に再度実施）
- オーラルフレイルハイリスク者については、保健師が訪問
- 訪問により医療機関への受診の必要性が高い高齢者に
対して情報提供書類を発行し歯科医療機関の受診勧奨を実施
（6か月後に再度訪問）

ポピュレーションアプローチ③



実施結果：

①口腔機能向上に関する健康教育・健康相談 314人に実施

ロコモ予防体操自主グループ（元気なからだづくり隊）14か所・ミニデイサービス 9か所

②通いの場利用者のうち**6割**(195人)がオーラルフレイルハイリスク

③オーラルフレイルハイリスクの内高齢者の質問票にも該当する

50人に対して保健師が訪問

1回目47人 2回目36人 6か月後評価で改善した人 28%

④身体機能測定の結果

フレイル予備群…58.5%

フレイル…15.5%

フレイルとは

健康な状態と要介護状態の間に位置し、身体的機能や認知機能の低下がみられる状態のことを指す。適切な治療や予防を行うことで要介護状態に進まずにすむ可能性がある。

2020年改定 日本版CHS基準（J-CHS基準）

項目	評価基準
体重減少	6か月で、2kg以上の（意図しない）体重減少 （基本チェックリスト #11）
筋力低下	握力：男性＜28kg、女性＜18kg
疲労感	（ここ2週間）わけもなく疲れたような感じがする （基本チェックリスト #25）
歩行速度	通常歩行速度＜1.0m/秒
身体活動	① 軽い運動・体操をしていますか？ ② 定期的な運動・スポーツをしていますか？ 上記の2つのいずれも「週に1回もしていない」と回答

（Gatake S, et al. Geriatr Gerontol Int. 2020; 20(10): 992-993.）

今回用いた評価内容

項目	評価基準
体重減少	質問票6：半年間で2～3kg以上の体重減少がありましたか 「①はい」と回答
心の健康状態	質問票16：（ここ2週間）わけもなく疲れたような感じがする 「①はい」と回答
身体活動	質問票13：ウォーキング等の運動を週1回以上していますか 「②いいえ」と回答

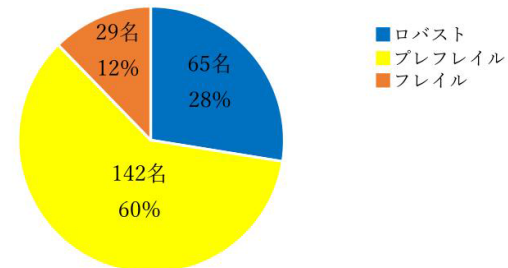
判定基準

該当なし：**ロバスト（健常）**

1～2項目に該当：**プレフレイル（フレイル予備群）**

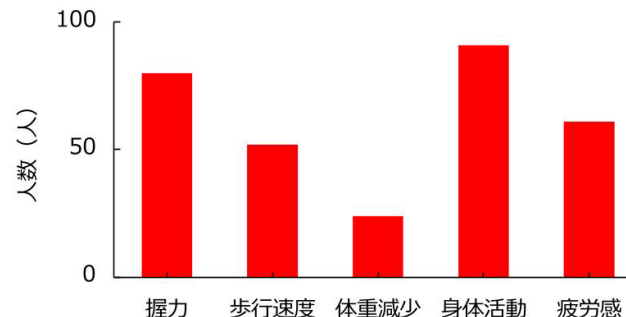
3項目以上に該当：**フレイル**

フレイル評価について



項目	全体	ロバスト	プレフレイル	フレイル
全対象者（人）	236	65	142	29
中高齢者：65歳未満（人）	11	3	8	0
高齢者：65～74歳（人）	44	15	28	1
後期高齢者：75歳以上（人）	181	47	106	28

フレイル判定ドメイン（重複あり）



条件	握力	歩行速度	体重減少	身体活動	疲労感
該当者数（人）	80	52	24	91	61
該当者数（%）	46.8	30.4	14.0	53.2	35.7

正しい評価をするための体力測定

1. 姿勢写真撮影(正面・横向き)
2. 身長、体重
3. 血圧
4. 開眼片足立ち
5. 握力
6. タイムアップ&ゴー
7. 開眼片足立ち時間
8. 30秒イス立ち上がりテスト
9. 5m歩行(早歩き)
10. 下腿周囲測定

ポピュレーションアプローチ④



評価：

①初回到口腔体操、唾液腺マッサージ等を紹介した結果通いの場で継続している会場は5会場、自宅で実施できている人はほとんどいなかった。

⇒オーラルフレイルのハイリスク者が6割あるが、オーラルフレイルに対する意識が低く、受診や体操等の行動変容につながっていない。

⇒引き続きポピュレーションアプローチが必要

②個別訪問実施者の（内口腔チェックシート、質問票、咀嚼力判定ガムによる）

改善・維持した人が83%と高かった

地域の課題共有

- ・ 地域包括支援センターが実施する生活支援体制整備事業
⇒ 地区ミーティングに参加（年1回～2回）

メンバー：生活支援コーディネーター地区担当（社会福祉協議会）
地域包括支援センター地区担当
地区担当保健師
地区社協事務局



保健師

- ・ K D B システムから得られた小地域ごとの健康課題、健診の受診状況
- ・ 一体化事業で得られた地域の状況

地域の健康課題や生活支援に関する課題、ニーズを共有し
サービスや仕組みづくりにつなげる

令和5年度の取組



令和4年度 「口腔機能状況情報提供」を発行し受診しやすくした



令和5年～
歯科受診時の診察・指導内容等を歯科医療機関から報告（返信）してもらう仕組みを構築
一体化事業におけるオーラルフレイル予防事業について歯科医師会へ説明
⇒ 歯科医師会と契約（情報提供料）



受診状況を早期に把握し6か月後訪問時の保健指導等へ活かす



個別評価・歯科健診の体制整備に向けての検討・準備

令和 6 年度の取組



令和 5 年度に第 3 期データヘルス計画作成
(令和6年度～令和11年度)



高齢者が住み慣れた地域でできる限り自立した日常生活を送ることが
できるために、生活習慣病の重症化予防及びフレイル予防に取り
組み、健康寿命の延伸を図る



高梁市国民健康保険疾病別医療費(最小分類)による 上位10疾病(令和4年度)

順位	細小分類別疾患	割合※
1	慢性腎臓病（透析あり）	5.7%
2	糖尿病	5.3%
3	統合失調症	4.5%
4	関節疾患	3.5%
5	高血圧症	3.0%
6	不整脈	2.4%
7	大腸がん	2.3%
8	骨折	2.2%
9	うつ病	2.2%
10	白内障	1.5%

令和 6 年度の取組



高齢者が住み慣れた地域でできる限り自立した日常生活が送ることができるために、**生活習慣病の重症化予防及びフレイル予防**に取り組み、**健康寿命の延伸を図る**



口腔機能向上に向けた取り組みに加えて…



糖尿病性腎症重症化予防開始

基準値該当者訪問と受診勧奨実施

事業を通じて・・・（感想）

- 地域の生活実態を知る事ができた
- 必要なサービスにつながった実感があった、包括と連携でき切れ目のない支援となった
- 自主的に通いの場へ参加している人もオーラルフレイルに該当する人が多い事がわかりポピュレーションアプローチの必要性を実感した
- 今まで健診を受診していなかった人が個別訪問による声かけで受診につながった
- 何らかの生活支援や介護支援が必要な人を把握し必要なサービスへつなぐ事ができた
- 年度内に6か月後評価としての2回の訪問と教室を保健師が担当し実施したが地域によっては対象者や会場が多いので負担になった…
- チェックリスト等の入力作業と評価指標が細かく評価判定が大変だった

⇒改善・工夫

- チェックシートの改定
- マニュアル作成
- 評価指標の内容を簡素化
- 咀嚼力判定についてガムの色で目視にて判定⇒アプリ活用
- 専従保健師による訪問準備、訪問支援、アドバイスによるサポート

